

クロスフローなのにカートリッジ! ウィルス除去から廃液処理まで……。

▼MLモジュールの構造

循環液出口

Vバンド

ろ過液出口 (エア抜き口)

▼[ML][MS/MU] フィルター特長

■カートリッジ方式 (ML) から 一体型モジュール (MS/MU) までラインアップ

クロスフローろ過には従来なかった、カートリッジ方式を採用 [ML]。リプレイスはエレメント交換のみでOK! 廃棄性及びランニングコストの低減に優れています。また、パイロジェン除去用などに信頼性のある一体型モジュール [MS/MU] も取り揃えております。

■優れたろ過精度と豊富な「中空糸膜」商品群

使用目的に応じて、中空糸膜エレメントを選定 (分離精度 0.003 ~ 0.1 μm 、内径 0.6 ~ 1.2 mm) できるため、ウィルスや細菌類などの除去から廃液処理まで広範囲な用途に対応可能です。

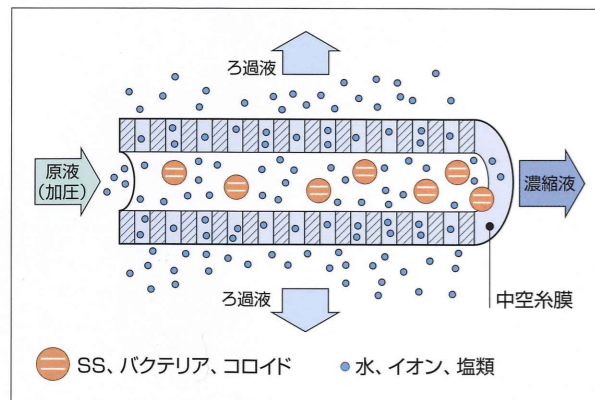
■高温でのろ過が可能

すべての商品に耐熱仕様をラインアップ。90°Cの熱水ろ過も可能です。

▼主要用途

- バクテリア・パイロジェン除去
- タンパクの精製・濃縮
- RO (逆浸透膜) の前処理
- 廃水、廃液の処理・回収

■中空糸膜によるろ過の原理



■水中のパイロジェン除去テストデータ (社内試験による)

運転時間 (hrs)	処理量 (m ³)	パイロジェン		パイロジェン 捕捉量 (mg)
		原水 (ng/ml)	ろ過水 (ng/ml)	
24	24	1.2	0.02 以下*	19
120	120	0.8		83
240	240	1.0		155
480	480	2.1		403
744	744	1.8		747
960	960	2.2		1,006
1,224	1,224	2.3		1,366

*パイロティック試薬の検出限界

使用モジュール: MU-6305-H (7m²)

運転条件: 内圧循環ろ過 (回収率 67%)、
給液圧 2.2 ~ 2.3 kg/cm²
ろ過差圧約 0.3 kg/cm²、ろ過量 1 m³/hr、
フロー量 0.5 m³/hr

原水: イオン交換水

検出試薬: 生化学工業製パイロティック試薬

捕捉量: 原水パイロジェン量より 67% 回収としての計算値

ろ過液集液口

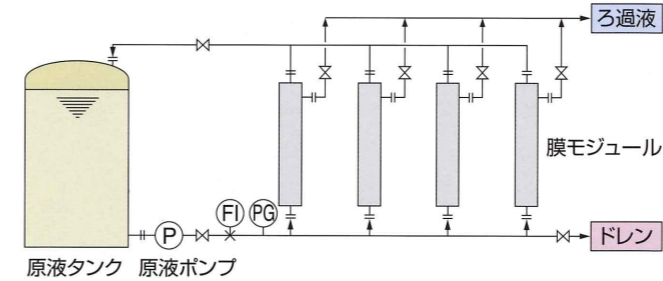
ハウジング

中空糸膜エレメント

ろ過液出口

原液入口

■フローシート



■実施例



[ML]

[MS/MU]

